



# 静岡県における市町間連携 ～ 賀茂地域における教育振興 ～



令和4年6月6日(月) 静岡県教育委員会

- 1. 賀茂地域の現状**
- 2. 賀茂地域広域連携会議の設立(H27～)**
- 3. 賀茂地域の教育振興(第1期。～R1)**
- 4. 賀茂地域の教育振興(第2期。R2～)**
- 5. 今後の課題・展望、取組の留意点**

## 賀茂地域 → 伊豆半島南部(1市5町)

- ・ 下田市
- ・ 河津町
- ・ 松崎町
- ・ 東伊豆町
- ・ 南伊豆町
- ・ 西伊豆町

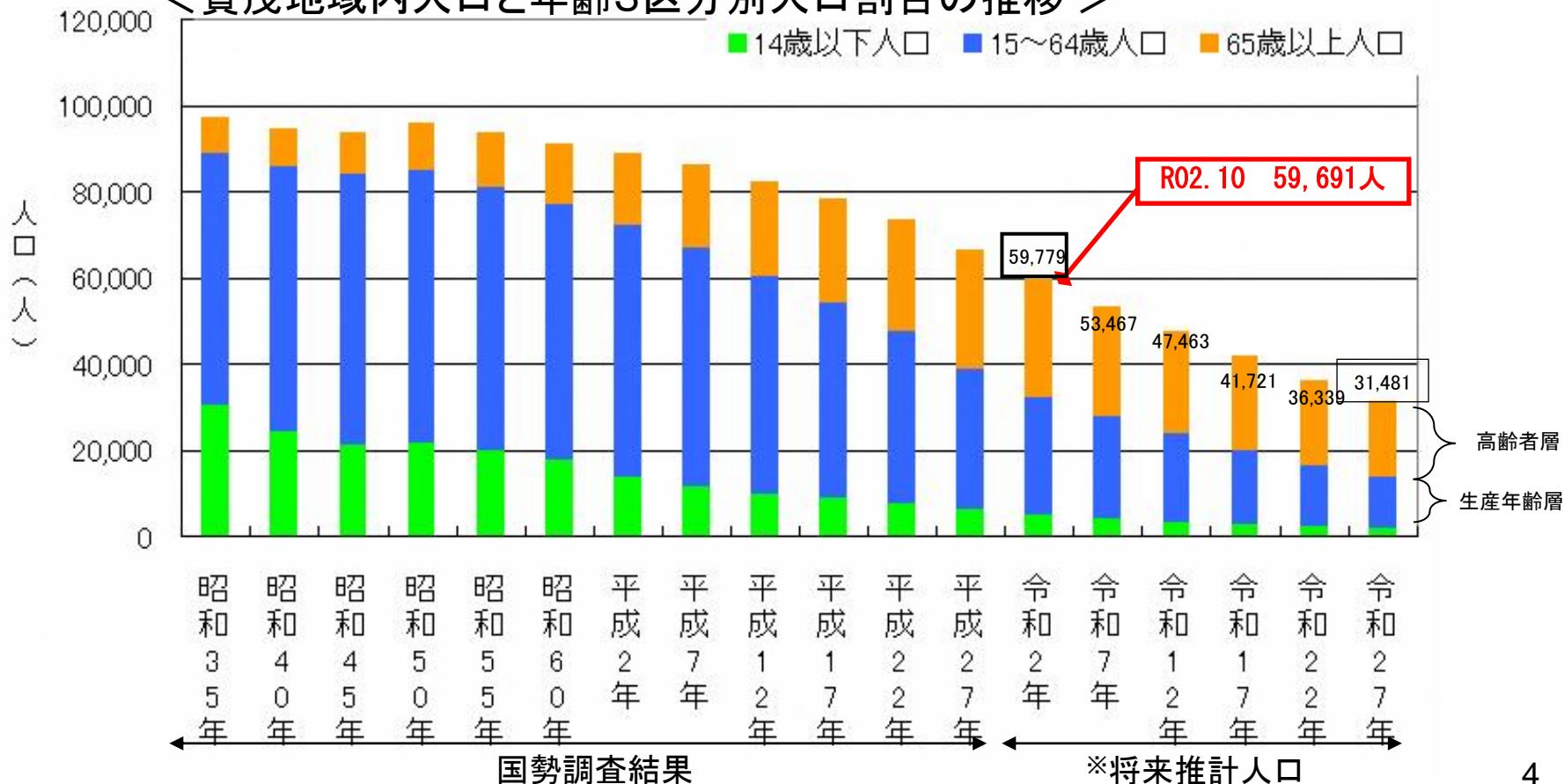


# 1. 賀茂地域の現状

## (1) 人口動向（人口推計）

- ・賀茂地域の将来推計人口：令和2年 59,779人→令和27年 31,481人  
（実際の令和2年の人口は59,691人で予測を上回る減少）

＜賀茂地域内人口と年齢3区分別人口割合の推移＞



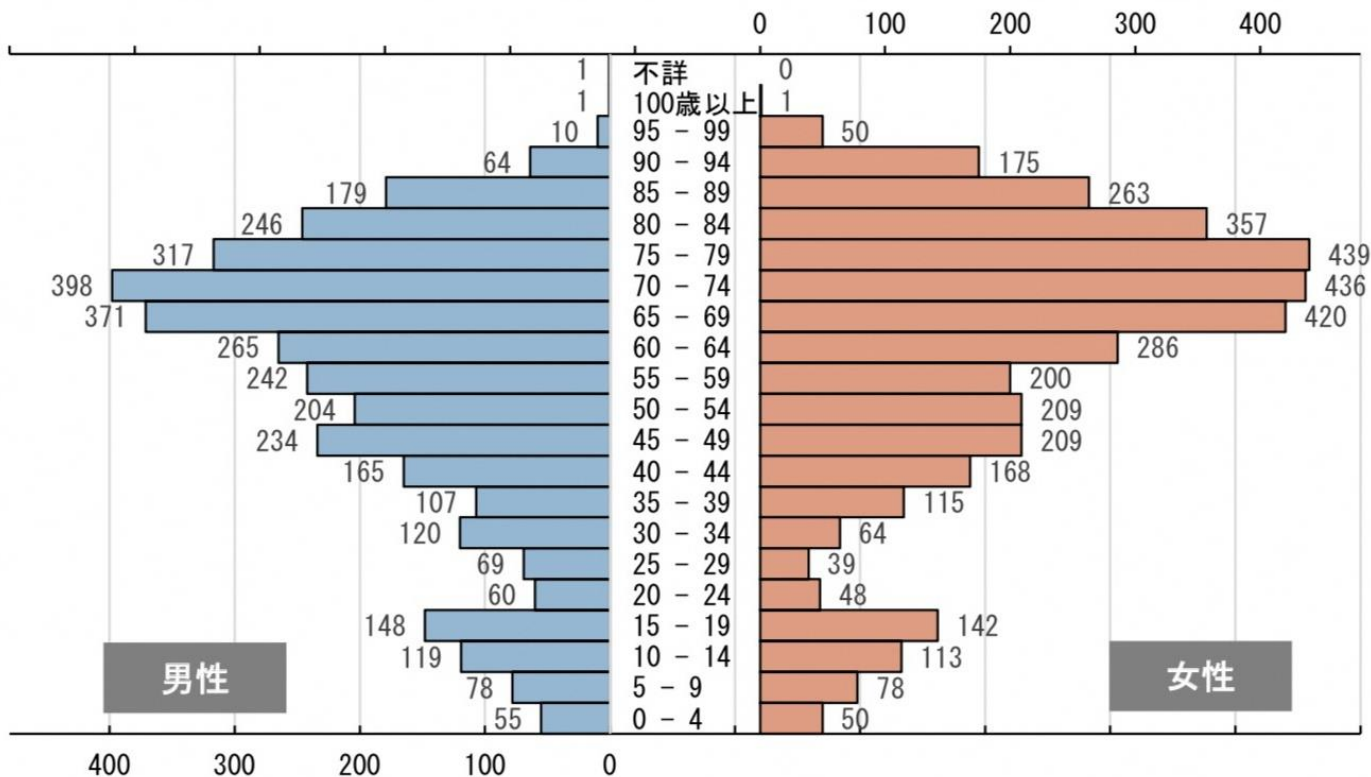
※ 国立社会保障・人口問題研究所(平成30(2018)年)の推計結果

# 1. 賀茂地域の現状

## (1) 人口動向（年齢構成）

### ＜西伊豆町＞

男性は70～74歳、女性は75～79歳が多く、  
男性は20～24歳、女性は25～29歳が少なくなっている。



# 1. 賀茂地域の現状

## (2) 小・中学校の状況

・出生児数の減少に伴い、小中学校の再編が進行

賀茂地区の小・中学校数及び児童生徒数(令和4年5月1日時点)

(単位:人)

	小学校数	児童数	中学校数	生徒数
下田市	7	722	1	417
東伊豆町	2	331	2	185
河津町	3	282	1	152
南伊豆町	3	284	2	152
松崎町	1	166	1	109
西伊豆町	3	171	1	122

小・中学校の再編状況(平成15年以降)

(下線部は今後予定)

下田市	稲梓中+稲生沢中+下田東中+下田中 → <b>下田中(R4)</b>
東伊豆町	大川小+熱川小 → <b>熱川小(H30)</b>
河津町	南小+東小+西小 → <b>河津小(R5)</b>
南伊豆町	南崎小+竹麻小 → <b>南伊豆東小(H21)</b> 三浜小+南中小 → <b>南中小(H26)</b> 南伊豆中+南伊豆東中 → <b>未定(R8)</b>
松崎町	松崎小+岩科小+三浦小 → <b>松崎小(H19)</b> 松崎小+中川小 → <b>松崎小(H22)</b>
西伊豆町	安良里小+宇久須小 → <b>賀茂小(H16)</b> 田子中+仁科中 → <b>西伊豆中(H15)</b> 賀茂中+西伊豆中 → <b>西伊豆中(R3)</b>



## 2. 賀茂地域広域連携会議の設立(H27～)

静岡県行財政改革大綱(H25)「地域全体としての行財政運営の効率化・最適化」



賀茂地域の人口減少社会の到来を見据えて、地域住民へのサービスの安定化と効率化を図るため、平成27年4月に設立

# 賀茂地域広域連携会議

(賀茂地域6市町長＋静岡県)

幹事会

専門部会

(1) 行政分野の連携～行政体制整備

9テーマ

(2) 官民・民民の連携

5テーマ

H27年度から

○連携会議

30回開催

○幹事会

41回開催

○各専門部会

多数開催

\*令和4年6月現在 8



## 2. 賀茂地域広域連携会議の設立(H27～)

\*令和4年6月現在

行政分野の連携	
1	消費生活センターの共同設置
<b>2</b>	<b>教育委員会の共同設置</b>
3	税の徴収事務の共同処理
4	監査事務の共同化
5	災害時における人的・技術的支援体制の構築
6	地籍調査の共同実施
7	地域包括ケアシステムの構築・運用
8	技術的・専門的知識を要する事務の共同処理(技術職員の共同利用)
9	公共施設の長寿命化、共同活用・管理(水道事業)
官民・民民の連携	
10	伊豆半島クリーン作戦
11	伊豆半島食の祭典
12	伊豆半島周遊ルートの開発
13	歴史的建造物の保存・活用における共同の景観まちづくり
14	若者定住

# ○教育委員会の共同設置専門部会

(H27設立、R4.6月現在 31回開催)

## 【メンバー】

- ・賀茂地域1市5町の教育長等、企画担当課
- ・賀茂地域の高校校長(県立3校)
- ・県教育委員会(部会長は教育政策課長)

## 【主な協議事項】

H27 ～H28	・指導主事共同設置、賀茂地域教育振興センター設置 ・賀茂地域教育振興方針の策定
H29 ～R1	・幼児教育アドバイザーの共同設置 ・賀茂地域学校魅力化協議会の設置 ・賀茂地域教育振興方針の評価、改訂
R2～	・未来を切り拓くDream授業・賀茂版の実施

ほか

ほか

## ○「賀茂地域教育振興方針（以下「振興方針」）」の策定

急激な人口減少などに対応し、理想の教育を実現するため、賀茂地域が一体となって施策を推進するための方針を策定(H28年度)

### 【策定主体】

賀茂地域広域連携会議「教育委員会の共同設置専門部会」  
(賀茂地域1市5町教育委員会及び県教育委員会)

【取組期間】 平成28年度～令和元年度(4年間)

### 【教育ビジョン】

- 1 幼保・小・中・高の一体となった学校教育
- 2 大学・大学院等との連携
- 3 既存ストックの有効活用
- 4 人的ネットワーク及び及び施設間連携の構築

\*この他、各種データや取組の視点等を掲載

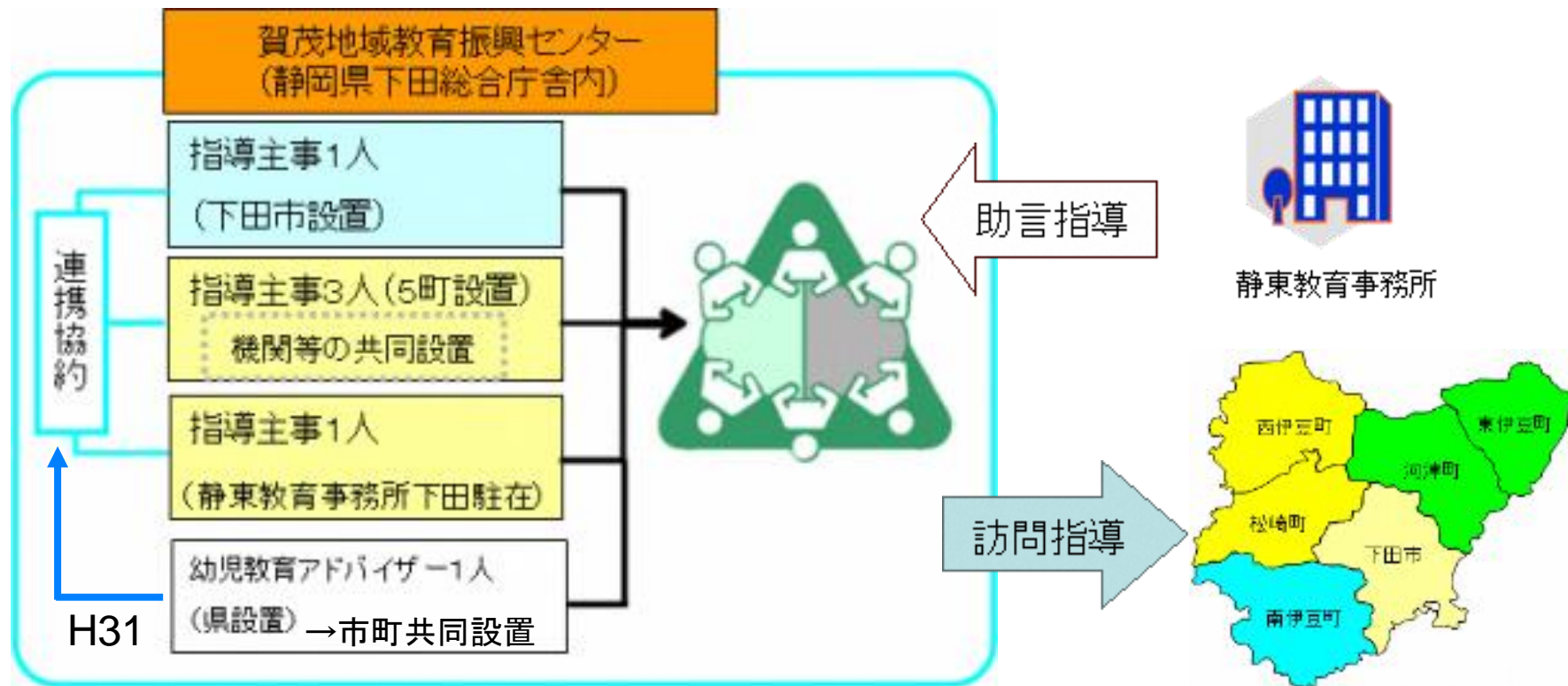
### 3. 賀茂地域の教育振興(第1期。～R1)

#### 【H28～R1の主な取組】

施策の柱		取組の主な進捗状況
1 幼保・小・中・高の一体となった学校教育	(1) 市町内・市町間の学校連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>賀茂地域教育振興センターの設置</u></li> <li>・ <u>指導主事及び幼児教育アドバイザーの共同設置</u></li> <li>・ <u>賀茂地域学校魅力化推進協議会の設置</u></li> </ul>
	(2) 人口減少に対応した教育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレット学習などICT教育の推進</li> <li>・ 共同による校務支援システムの導入</li> </ul>
2 大学・大学院等との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静大教職大学院「学校等改善支援研究員」制度の活用</li> <li>・ 静岡大・県立大・静岡文化芸術大との連携協定の締結</li> <li>・ 下田総合庁舎への賀茂キャンパスの整備</li> </ul>
3 既存ストックの有効活用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余裕教室、遊休施設のリストアップ及び文部科学省サイトへの掲載</li> <li>・ 学校施設の開放</li> </ul>
4 人的ネットワーク及び施設間連携の構築		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 賀茂地域教育サポーター推進組織の設立</li> <li>・ 図書館の相互利用協定の締結</li> </ul>

### 3. 賀茂地域の教育振興(第1期。~R1)

○賀茂地域教育振興センター設置 ○指導主事、幼児教育アドバイザー共同設置



H26	H29	H31(R1)
指導主事を県で配置 (指導主事未配置の解消)	指導主事を5町で共同設置 賀茂地域教育振興センター設置 幼児教育アドバイザーを県で配置	幼児教育アドバイザーを 1市5町で共同設置

## 【取組内容、成果】

### ①指導主事の共同設置

- ・若手教員等を対象とした研修の充実
- ・学校への定期訪問の強化



### ②幼児教育アドバイザーの共同設置

- ・訪問指導、幼小連携のコーディネート
- ・全体研修会の開催



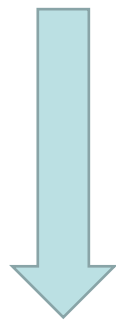
⇒賀茂地域全体の教育の質の向上

### ○振興方針(H28～R1)の取組最終年に当たり評価

- ・幼・小・中・高・大に渡って、教育振興の基礎となる仕組みを連携により構築
- ・「中学卒業時に『将来、賀茂地域に帰ってきたい』と思う子どもの割合」は低下

H28:39% ⇒ R1:32%(目標値:50%)

対象:賀茂地域(1市5町)の19小学校、12中学校、4高校のそれぞれ最終学年の児童・生徒



子供たちに自分の生まれ育った地域を好き  
になってもらうことが重要

### ○振興方針改訂(R2～R5)の方向性

これまで取り組んできた仕組みや拠点を活かして、  
一人一人に賀茂地域のよさを伝えていく取組が必要

## 振興方針改訂 (R2～R5) の概要

### 3つの方向性と5つの重点取組

	方向性	重点取組等
1	賀茂地域の将来に向けて、地域全体で取組を進めていく一体感の形成	<u>「賀茂の子」の理念の共有</u>
2	子供たちが、「賀茂地域に帰ってきたい」と思えるよう、地域の魅力を伝える教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 幼児教育の推進</li> <li>② <u>活力ある小・中学校づくり</u> (学校統合などの研究を含む)</li> <li>③ 高校の魅力化</li> <li>④ 大学・学生との連携 (地域との連携・交流の推進)</li> </ul>
3	子供たちが、地元に戻ってきて、学び続けることや地域に貢献できる環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 大学・学生との連携 (地域づくり人材の育成)</li> <li>⑤ 社会教育の魅力化</li> </ul>



## 4. 賀茂地域の教育振興(第2期。R2～)

- (1) 「賀茂の教育」の基本理念 ～「賀茂の子」～  
「『賀茂の子』を育てる」という理念を改めて共有

### 「賀茂の子」とは...

**「『賀茂は一つ』の想いのもと、ふるさとに誇りと愛着を持ち、地域の発展に貢献できる人」**

- (2) 重点取組 ②活力ある小・中学校づくり  
地域への愛着を深める教育の充実、人口減少に対応した体制構築

#### 1 小・中学校における教育の質の向上

○教職員の資質向上(指導主事による学校訪問・研修等) ○ICTの活用の推進

#### 2 賀茂地域の魅力を伝える教育の充実

○地域を知る学習やキャリア教育の充実(賀茂版Dream授業等)

#### 3 人口減少に対応した教育体制の構築 ○学校統合などの研究の推進

# 4. 賀茂地域の教育振興(第2期。R2～)

○未来を切り拓くDream授業 賀茂版(R3.11.20。賀茂地域の中学生28名が受講)

- ・「賀茂は一つ」の想いのもと、ふるさとに誇りと愛着を持ち、地域の発展に貢献できる「賀茂の子」を育む
- ・賀茂地域に想いを寄せ活躍している講師陣の講義を通じて、日常生活では目に触れることがない地域の実情や、講師の人間性等に触れる
- ・お互いに刺激し合える仲間を地域内につくる

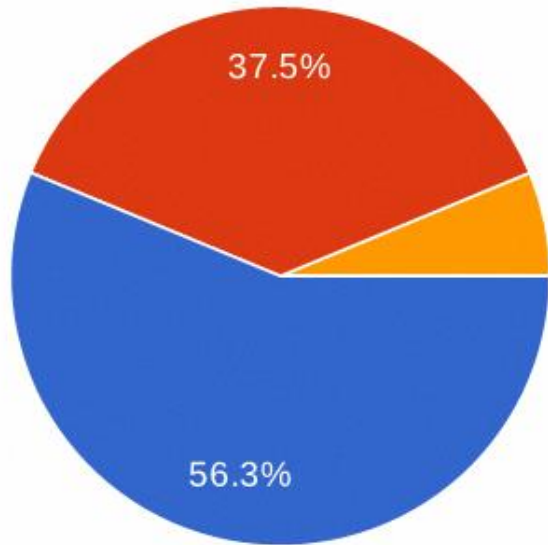
・コロナ影響  
R2集合→リモートへ  
R3は8月(2日間)→11月(1日)

→自分の生まれ育った地域が大好きな子供たちの育成を目指す

内容	時間	講師 *敬称略
オリエンテーション	9:10～9:20	
1時間目	9:20～10:20	土屋優行 (静岡県特別補佐官)
2時間目	10:30～11:30	芹沢安久 (カネサ鯉節商店)
昼休み	11:30～12:30	
3時間目	12:30～13:30	酒井厚志 (白浜マリーナ代表取締役社長、日本サーフィン連盟理事長)
4時間目	13:40～14:40	高瀬真由 (地域おこし協力隊)
5時間目	14:50～16:20	八木健祥 (静岡県立大学ツーリズム研究センター長) ・大学生も交えた討議等
連絡事項	16:20～16:30	

\* 翌11/21に参加大学生と高校生(下田高校)によるフィールドワークを実施

Dream授業に参加してよかったですか？



- 1 とても良かった
- 2 よかった
- 3 あまり良くなかった
- 4 良くなかった

(理由)

- ・賀茂の現状を知ることができた。地区内の友達ができる
- ・今まで知らなかった伊豆半島の魅力を知ることができた
- ・普段会う機会のない、賀茂地区を引っ張ってくれている方々のお話を聞いた
- ・たくさんのことを学べたけど、良かったかと言われるとそうでもない



### ○今後の課題・展望

#### 【想定される研究・検討事項】

- ・まだ手が届いていない分野の連携（社会教育、キャリア教育…）
- ・人口減少を踏まえた連携（小・中学校の統合、高校の在り方…）

### ○取組の留意点

- ・政治的枠組み、リーダーシップ
- ・（県としては）市町・地域の役に立つ＋市町等との協同作業
- ・お互い業務負担に配慮（特に小規模市町）
- ・象徴的な組織、施設
- ・人と人の関係（信頼関係）

## <市町間での連携体制>

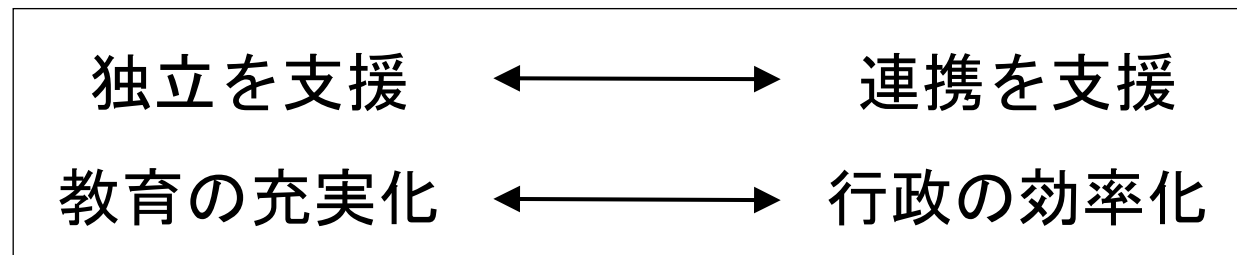
### 現状

- 学校教育
- 教職員人事
- 教科書採択
- 市町内での小中学校統合

### 課題

- × 高校のあり方
- × 社会教育
- × 市町をまたぐ統合
- × 教育委員会の共同設置

## <市町支援の考え方>



- ・ デジタル田園都市国家構想
- ・ 南伊豆地域広域ごみ処理事業